

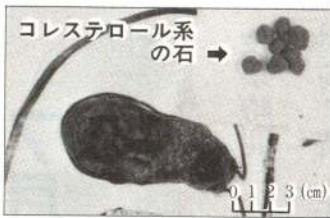
ドクターブル通信

胆石症

市立総合病院外科部長 武内俊

胆石症とは

胆石症は一般外科で扱われる最もポピュラーな疾患のひとつです。



胆石症でつくられた胆汁は、樹枝状の線い管が集合し、最終的に一本の管（総胆管）となつて、十二指腸に開口しているルートを通り、腸に排出され、主として脂肪の消化、吸収に関与します。このルートの途中、ふくろ状に付着し、胆汁を貯蔵しているのが胆のうで、胆汁の補充に備えています。胆のうの出入口と総胆管の出口は、少し細くなっています。胆汁の流れをコントロールしています。この胆のうや総胆管に、胆汁内の成分が固まってできるのが胆石というわけです。

胆のうには、胆石には、胆のうにてやすいコ

レステロール系の石、総胆管にできやすいビリルビン系の石などがあります。石の数は一個から数百個まで、大きさはアワ粒までですが、数や大きさは病気の重症度とは直接関係がありません。胆石はそれができただけでは症状がありませんが、胆汁の流れに沿って細い出口付近にはまり込んだり、石の刺激によって炎症が引き起こされると、激しい痛みや高熱、黄疸等の症状が現れ、時には生命の危険にさらされることさえあります。

胆石の治療も進歩し、ある種の石には結石溶解剤が効力を發揮します。また最近では、体外から衝撃波を送ることで石を破碎する装置も試みられるようになりましたが、未解決の問題点も残っています。現在は、確実に比較的安全に行える外科手術が推奨されます。

原爆写真展・平和図書コーナー
と き・7月28日(金)、29日(土)
ところ・市民文化会館(展示室)

午前10時～午後7時

戦争はもういや／広島、長崎の悲劇を繰り返してはならない！
‘89平和を願う市民のつどいでは、あなたのために耳に、そして心に、平和希求のメッセージを送ります。一緒に感じ、考えましょう。

女性に多い胆石症

胆石症は、胆汁の流れに沿って細い出口付近にはまり込んだり、石の刺激によって炎症が引き起こされると、激しい痛みや高熱、黄疸等の症状が現れ、時には生命の危険にさらされることさえあります。

胆石症はここ十年間で、それ以前十年間の一・六倍に増加しており、手術で胆石を取り除き、胆汁の流れを良くしてあげなければなりません。

しかし、胆石のすべてがこのような症状を引き起こすわけではありません。胆のう内に比較的大きく成長した石があつても、無症状で経過する場合も多く、本人も知らずにいることがあります。日本では、二十年前ごろまでは総胆管にできやすいビリルビン系石が多かつたのですが、

最近では欧米と同様に、胆のうにできるコレステロール系石が多数を占めるようになりました。胆のう結石の約半数は無症状で経過するといわれますが、長期に胆石を放置した場合に問題なのは、胆のうがんを誘発する危険があることです。特に六十歳を越すと、その危険性は急速に増えているといわれています。

’89 平和を願う市民のつどい あなたへ“平和”的メッセージ

平和を語る夕べ ~私の戦争体験~

学徒動員、空襲、被爆など、戦争によって引き起こされたさまざまなものと、6人の体験を通して語られます。

と き・8月3日(木) 午後6時～
と こ ろ・中央公民館(2階視聴覚ホール)

映画「やんからさんれん」

料 金・前売り 600円 (当日 800円)
※4歳以上は同一料金
前売り券は、下記プレイガイドでお求めください。
「やんからさんれん」とは、空き缶や落

